

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・国際会議の受注や週末の観光イベントにより、高単価かつ高稼働で推移している。
	◎	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・3か月前の酷暑の影響により、行事が12月まであり、例年よりも販売量が増えている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・前年基準にした売上達成度で3か月前と比較すると、今月は1割ほど売上は多い。例年、紅葉を目当てに多くの観光客が訪れるが、今年は例年以上に多くの客が来ている。物価高の影響により価格を上げたことも売上増加の一因ではあるが、来訪客が多く、購買意欲も高いために売上が伸びたとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・値上げの効果が1番大きいとみている。
	○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月は前年比101%、今月は107%と伸びている。大きく伸びたのはパソコン本体で、OSのソフトウェアサポート終了に伴う買換えが継続していることが要因である。ほかにけん引した商材はテレビで148%となっている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行楽シーズンで、インフルエンザの流行に負けず、人出があるため助かっている。
	○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・安定した天候に恵まれ、紅葉も長い期間楽しむことができたため、国内外からの来訪客でにぎわっている。
	○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も動きが良く、前年同月と比べて10%の増収である。
	○	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・政府の積極財政に向けた変化で、徐々にではあるものの良い影響が出てきている。特に、ガソリン暫定税率の廃止等、今後の価格低下が見込めることから、少しずつ節約志向が緩和されてくるのではないかとみている。
	○	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・日並びの関係で、土日の日数が前年より2日多いが、それを考慮しても増加傾向にある。
	○	設計事務所（所長）	来客数の動き	・新しい仕事の依頼等、問合せが来るようになっている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・11月に入って、高額商材が数台販売できている。最近にはない動きで驚いている。ただし、客に話を聞くと、年金や貯金を崩しての買い求めとのことである。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は休日が多いため、出掛ける人が多い。休日明けの観光地はその分、静かである。ガソリン暫定税率廃止等で、影響が出るとみている。ただし、物価は上昇したままなので、この報道だけでは景気の変動はみられない。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・衣料品は堅調に推移しているものの、食料品は買上点数の減少が続いており、前年実績確保には至っていない。
	□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・季節が変わるタイミングで、時期に合った商材の購買は活発になるが、そこにワンランク上のぜいたくや遊び心は余りみられない。良質な商材を買い求める層は一定程度見受けられるが、全体的な傾向ではない。一貫して堅実な買物をしている。
	□	百貨店（店長）	販売量の動き	・6月頃から、若干のプラスマイナスはあるものの、大きな変化はみられない。株価の高騰や物価高の継続等、商売に影響を与えるものが多くあり、客の反応を見ても大きな変化はない。
	□	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・売上は前年実績に未達の状況で、来客数も前年割れとなっている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・この数か月、車両販売や整備等のサービス部門売上は横ばい状態で、進歩がなくて困っている。
	□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来店客が減少しているため、受注状況も減少傾向になっている。

□	住関連専門店 （仕入担当）	来客数の動き	・ようやく気温が下がり、冬物が動き始めた分、前月よりは売上は上がっている。節約志向は変わらず、季節商材の増減が数字に影響を与えているだけである。
□	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・税制改正等の好材料はあるものの、来客数は変わらない。客引けの早さも相変わらずである。依然として、市街地の夜間の人出も少ない。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・主力の事業所給食部門は、米を始めとした食材の値上げが出そろい、人件費も最低賃金引上げを織り込み、主要経費が大幅高値となっていることから、収支面は一段と厳しい状況である。レストラン部門では、客足は戻り基調となっており、単価引上げについても受け入れてもらえている。
□	旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・大阪・関西万博が閉幕したが、客足は戻っていない。
□	通信会社（社員）	単価の動き	・引き続き、当社提供サービス加入内容の見直しや解約の問合せが増加傾向にある。理由として物価高の影響が少なからずある。料金単価は変えていないが、仕入原価は上昇している。当社利益でカバーできればよいが、不安である。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新政権による経済対策の方向性がみえてきて、住宅ローン減税の拡充が示されたため、業界としては少し見込みが出てきたものの、地方にその効果が出てくるかどうかが問題である。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	販売量の動き	・リフォーム関連の補助金や助成金の施策が年内で終了することもあり、例年同様に端境期を迎えている。
▲	商店街（代表者）	それ以外	・橋の架け替え工事による通行止めが、商売に影響している。
▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・今月は動きが悪い。
▲	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・ここ数か月、来客数の減少が続いている。特売チラシ時の集客の落ち込みが特に目立っている。要因としては、値上げラッシュで安さが伝わらないことが考えられる。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年のイベントの反動で、今年度はイベントが少なく来客数が減少している。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・クリスマスケーキやおせちなどの予約状況が、例年と比べて遅い。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量のほかに、来客数や車の交通量もやや少ない。消費意欲はやや控えめである。
▲	住関連専門店（店長）	単価の動き	・前年比で点数、客単価共に落ちている。来客数は横ばいだが、客単価は落ちていることから、購入商品を吟味して不要な買物を極力しないようにしている様子がうかがえる。安い物が売れ、し好品は売れなくなっている。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・忘年会を前に控えているからか、連休が多かったせいかわからないが、予約の入り方や当日のフリー客の動きが3か月前と比べて明らかに減っている。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・例年なら忘年会が始まる頃だが客が少ない。ドライバー不足で台数が少ない割に、個人の売上は変わらない。ただし、会社の売上はかなり減少している。他のタクシー会社は負債を抱えて倒産している。景気の悪いときに最初に削減する経費は、タクシー代である。会社からチケットも出ないようである。
▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・ここ半年間、毎月販売数は同じだったが、今月は1割以上落ち込む見通しである。
▲	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・猛暑が落ち着き紅葉シーズンとなったが、期待していた連休や週末が降雨となり、来園者が減少している。
▲	ゴルフ練習場（経営者）	来客数の動き	・商材価格上昇により、最低限の買物で済ませている。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・来年夏に地域のデパートの撤退が決まったため、ますます広域集客力が落ちると懸念している。現状は、中国からのインバウンドが激減している。

	▲	住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・現状、当地では貸店舗、アパート、住居関係いずれもなかなか埋まらない。経費等は上がっているものの、家賃等は上げられず、逆に空室が多いため、現状維持又は家賃を下げている状況である。最近では店舗等への引き合いもほとんどなく、逆に統合や廃業が目立っている。
	×	一般小売店〔家電〕 （経営者）	来客数の動き	・時期的なこともあるため仕方ないが、反応がやや鈍い。
	×	衣料品専門店 （販売担当）	来客数の動き	・今月は本当に数人しか来店しないほど、ひどい。根底には物価高が相当影響している。生活必需品には必ず、お金を掛けないといけないが、当店のような服飾関係は、最後の最後に回されて、結局あきらめて買わないという状況ではないか。この状況を打破してほしい。
	×	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・動きが悪い。インフルエンザの流行で、学校が休みになってこどもが家にいたり、物価高で家から出られないとの話を聞いている。
企業 動向 関連 （北関東）	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・積極的に時間外勤務を行っている。
	○	一般機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・新規案件の相談が増加しつつある。
	○	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・作業員が足りなくなり、これから募集を掛けようと考えている。ここに来て仕事が急に増え、驚いている。
	○	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・各取引先で、中国への輸出物件が若干増えている。
	○	金融業（営業担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・人件費や仕入価格の増額分を販売価格に転嫁できている状況が、徐々に増えている。
	□	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	取引先の様子	・この1～2か月、取引先、受注量、販売量の動きがほとんどない。
	□	輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	取引先の様子	・今のところ目立った動きもなく、特に変わらない。
	□	輸送業（営業担 当）	取引先の様子	・今月はブラックフライデー等で荷動きが増える予定だったが、冬物家電、電気カーペット、こたつ、エアコン、ヒーター等や冬物寝具、カーペット等、特にインターネット通販向けの物量が前年比2割ほど落ちている。燃料高もあり、業績自体は前年比1割ほど落ち込んでいる。
	□	広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・広告出稿件数、売上は横ばいが続いている。広告業界の市場は現状のままではないかというほど伸びていない。紙に印刷するような広告宣伝は、地方ですら完全に衰退している。
	□	経営コンサルタ ント	それ以外	・観光地、行楽地はそこそこにぎわっており、物価高で購買数は減っても潜在的な消費意欲は衰えていない。中小企業の業績も基本的に大きな変化はなく、米国の関税政策の影響下でも営業努力で受注、売上を維持し、将来の増加を見込んでいるところもある。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・インバウンドは関係ないため、中国の影響も余りなく、今のところ変化はない。
	▲	食料品製造業 （経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・食品の価格が高止まりしており、新米も異常な高値となっている。消費者が生活防衛しているためか、販売量が減っている。
	▲	不動産業（管理 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・管理物件の維持管理費は、価格改定で値上げが徐々にできているが、空室物件のある建物への入居需要がないため、賃貸収入が増加しない。
	×	一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・5～9月の売上は全て前年実績を下回っており、10月、11月もマイナスが確実な状況である。
雇用 関係	◎	—	—	—

関連 (北関東)	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・飲食店関係では、なかなか求人募集に応えられる人が見つからない。小売、コンビニ等も学生アルバイトが多くなっている。賃金については少しは良いのかという様子が見受けられる。住宅についても、改築、新築は目立っている。製造、製品、ガソリン関係、電気等は安くはなってきたものの、やや動きは鈍い。生鮮食料品等は安くなっている商材もあるものの、米も含めてまだ高い。
	□	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・新規求職者数が増えない。企業側の希望と求職者のギャップが解消されない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で増減を繰り返している。
	▲	人材派遣会社 (管理担当)	求職者数の動き	・派遣求人への応募者が減少しており、売上が減少している。
	▲	学校〔専門学校〕 （副校長）	周辺企業の様子	・取引業者の話では、物価上昇に伴い取引量が減少しており、利益を吸収している状況で大変厳しいとのことである。
	×	—	—	—